

令和4年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題  
(現職教員、学部直進者等選抜後期募集)

「小論文」 高度教職実践専攻 高度教職実践専修

問 題

現行の学習指導要領解説（総則編）では、改訂の基本方針の一つに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が求められている。各校種において、若干の表現の違いはあるが、例えば、小学校学習指導要領解説（総則編）の3ページには、「子供たちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要であり、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善（アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善）を推進することが求められる。」と記されている。

そこで、現在、各学校で行われている授業実践（あるいは教育実習等で行った自身の授業実践）における課題を踏まえ、今後、あなたは、どのように授業改善の取組を図っていくのか、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の三つの視点からそれぞれ述べなさい。

解答に際しては、はじめに学校種・教科等を示し、1200字以上1500字以内で記述しなさい。なお、試験終了後、解答用紙（2枚）のみ提出すること。

配点 200 点

※小学校及び中学校学習指導要領並びに特別支援学校小学部・中学部学習指導要領は平成29年告示、高等学校学習指導要領は平成30年告示、特別支援学校高等部学習指導要領は平成31年告示



10

20

30

30行

40行  
1200字

50行  
1500字